

後期学校評価の結果及び今後の取組

本校は、「自ら学び 心豊かな たくましい子」の育成を目指して、日々取り組んでおります。それらの取組について、2学期末に児童・保護者対象のアンケートを実施しました。お忙しい中、アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。1月30日の学校評議員会では、学校評議員の方々から貴重なご意見をいただきました。アンケートや各種調査の結果をもとに、取組の成果や課題を分析し、学校評議員の方々のご意見をふまえ、今後の改善策を検討しました。

【学校評議員さんからのご意見】

☆地域の人とのつながりを大切にした『ふるさと教育』が充実している。

地域の姿を知ることが人間教育につながる。

☆失敗をしたときにどんな対応をするかが大切。チャレンジ精神を養ってほしい

【今後に向けて】○成果 □課題 ☆改善策

【自ら学び自ら考える子】

- よく分かる授業
- 聞き合い・話し合い
- ICTの活用
- ☆子ども主体の学習の充実

【表現力豊かな子】

- 表現力の基礎となる力
- 進んで発表
- 文章を読み取る力
- ☆段階的な指導
- (文章の概要を捉える→詳細を捉える)

自ら学び 心豊かな たくましい子

【豊かな心をもつ子】

- 地域の文化・人材の活用
- 週末読書
- ☆家庭との連携

【たくましくやりぬく子】

- 家庭学習・早寝・早起き・朝ご飯の習慣
- ☆家庭との連携
- ☆子どもたちが企画・運営する活動の充実

【表現力向上】
条件に沿って文章を書く学習をしています。

【ICTの活用】
ク롬ブックを”新たな文房具”として様々な授業場面で、目的に応じて効果的に活用しています。

【地域を知る学習】
地域の方を講師に招き、地域の歴史や文化についての理解を深める学習をしています。

